アスク府中片町保育園

2023年3月更新

アスク府中片町保育園

【園目標】

心豊かによく遊び、たくましく生きる力を育む

【保育園の概要】

〈住所〉　〒183-0021
東京都府中市片町 3-3-28

〈開設日〉　２０１９年4月1日

〈電話〉　042-314-0721　〈FAX〉 042-306-5081

〈対象年齢〉 0歳児～就学前児童

〈入園定員〉

定員　計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
８０名	６名	１２名	１４名	１６名	１６名	１６名

子どもたちの健やかな成長を願いながら、子どもたちが生きていく力を育める保育園でありたいと思います。そのために、子どもたち主体で感性豊かに、夢中になって遊べる環境を大切にしています。そのような環境を作っていくためにも、大人（保護者・職員）も生き生きと生活し、お互いを認め合い、感謝し合い、学び合いながら過ごしていきたいと思っています。

【大きな園庭】

【長い園庭】

“子どもたちが主体的に夢中になって遊べる環境” をねらいに、園庭作りを行っています。「自分たちで遊びを作れること」「遊びの変化を楽しめること」「チャレンジできること」「自然に周りの人と関わることができること」に必要な環境を考えて、可動式の道具を置いています。乳児クラスのテラス前にも長い園庭があります。風通りも良く、日中も程よく日陰になっているので快適です。夏の時期には、水遊びや泥んこ遊び・プール遊び（幼児クラスのみ）なども楽しみます。

［はいチーズ！システム］

保育園とご家庭のコミュニケーションを繋ぐWeb システムを導入しています。
登校園の打刻の管理・毎月の予定表の管理・連絡帳のやり取り（主に乳児クラス）・園や府中市からのお知らせの配信各クラスごとの日中の様子を、写真と文で配信しています。

【戸外活動】

【交通ルールを学ぶ】【季節を感じる】【地域交流】を目的に、お散歩に出かけます。
近い場所だと隣の小学校周辺や府中本町駅近くの防災公園や史跡広場、遊歩道、遠い場所だと郷土の森公園まで行くこともあります。

【給食・おやつ】

給食室で作った給食・午後おやつを提供しています。乳児クラスのお子さまには、朝おやつの提供があります。当園では、以下のコンセプトを基に給食を提供しています。
①豊かな人間性を育もう
②楽しく食べよう
③五感を使って味わおう

【1 階廊下】

1 階の廊下も保育室の一部として、子どもたちが楽しめる場・憩いの場になっています。
ソファーや鏡、インテリアにはおもちゃとして使用できるものも設置しています。
地域支援（園主催のイベント）なども、こちらの場所で行っています。

【おむつのサブスクリプション】

2022 年度 1 月より、毎月定額料金を支払うことでおむつとおしり拭きが使い放題でご利用いただけるサービス（ベビージョブ　手ぶら登園）が導入されます。

※やむを得ない理由を除き、0・1 歳児クラスは、原則利用していただくことを推奨しております。おむつを使用するお子さまは、こちらのサービス利用にご協力お願いいたします。

【食物アレルギー食の対応】

●食物アレルギー食の対応は、医師の指示書が必要です。医師の指示書を基に、代替・除去などの対応をいたします。

●入園後も、食事相談やアレルギーに関する個別の相談などをお受けしています。

【園での与薬について】

園での与薬は、原則お断りさせていただきます。医療機関ではないため、保育園での与薬は認められておりません。保育園に通園していることを医師に伝え、できるだけ朝晩２回の処方にしてもらえるようご協力ください。

※特例措置として、園で与薬できるのは医師の指示書による処方薬のみです。

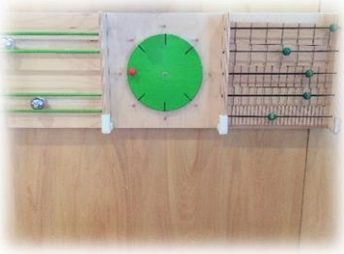
（但し、一部処方薬については与薬をお断りすることもあります。

《0歳児（すずらん組）》

【お部屋の様子】

ゆったりと安心して過ごせるような家庭的な雰囲気のお部屋になっています。
床暖房を設置、床はクッションフロアにもなっているので安全が確保しやすく、ずりばいやハイハイ時期、歩き初めのお子さまも安心してのびのびと体を動かすことが出来ます。それぞれの発達に合わせ定期的におもちゃや環境設定の見直しを行い、興味関心・発達を促しながらも子どもたちがゆっかりと安心して過ごせ、夢中になって遊べる環境づくりを心掛けています。

【五感を育む素材のおもちゃ】



感触や音・香りを感じられるような五感を刺激するものや、安全性の高い自然素材のものを推奨しています。また、つかまり立ちから伝い歩き時期のお子さまも立ったまま遊べるようなおもちゃや、「掴む」「引っ張る」「握る」等指先の運動を促すようなおもちゃ等、発達に合わせたものを取り入れています。

【個々の生活リズムに合わせて】

午前寝や夕寝が必要なお子さま、月齢によって異なる食事形態など、一人ひとり生活リズムがさまざまな時期です。集団保育でありながらも、一人ひとりの生活リズムや発達過程、保育時間などに応じながら気持ちに寄り添った関わりを大切にしています。

【育児担当制保育】

特定の保育者が継続的に特定のお子さまの生活支援（主に、食事介助・寝かしつけ・着替えやおむつ替え 等）を行う【育児担当制保育】を乳児クラスで取り入れています。特定の保育者が頻回に関わることで、信頼関係・愛着関係を深め、一人ひとりをより深く理解し、お子さまが安心して過ごせるような関わりを行っています。

【身の回りのものに親しみ、様々なものに興味や関心をもつ】

生活や遊びの中でいろいろな物に触れ、音や形・色・手触りなどに気が付き、五感を育んだり、子どもひとりひとりの行動をよく観察して表現しようとする意欲を丁寧に受け止め、言葉で返しながら一緒に過ごすことを大切にしています。

《１歳児（すみれ組）》

【お部屋の様子】

“おもちゃで遊ぶところ”“着替えをするところ”“ご飯を食べるところ”とそれぞれコーナーをしっかり分けることで、子どもたちが過ごしやすく活動を満喫できるような工夫しています。
黙々と自分の好きな遊びに取り組んでいる中でも、お友だちと一緒に行う楽しさや、その楽しさを共有し合う事が増え、ちょっとした遊びでもお友だちと遊びの発展をさせながら楽しんでいる姿が見られます。
（※朝・夕の合同保育、土曜保育もこちらの保育室で行っています）

【個々の気持ちに合わせた活動】

集団保育でありながらも、個々の気持ちに合わせた活動を心掛け、“今は〇〇したくない”“まだ集中して１人遊びをしている”等の時は気持ちを受け止めて見守り、その子自身がしたい活動を続けられるような関わりも大切にしています。

【自分でしようとする気持ちを育てる】

自分の身の回りのことに興味を向け「自分でやりたり！」という意欲を持って、挑戦しようとする時期です。今子どもが出来ること、頑張ってみたら出来そうなこと、少しでも「やってみようかな・・」と思えるところなど、目の前のお子さまの心情を汲み取りながら「自分でできた！」という達成感も味わえるように丁寧に援助しています。

【伸び伸びと生活し自分から体を動かすことを楽しむ】

興味や関心が大きく広がり、行動範囲もどんどん広がっていきます。子どもの興味や関心、発達過程をしっかり見極めて、環境や関わり方を工夫します。まだ“危険”という概念がない時期なので、安全面には十分配慮しながら「危ない」「ダメ」と必要以上に遊びや活動を止めなくても済むような環境を整えています。

【子ども同士のトラブル】

言葉で思いや気持ちを伝える力がまだ未熟なため、物の取り合いや自分の遊んでいる場所を譲ることが出来ずに手が出てしまったり、噛みつきがおきてしまうこともある時期です。子どもたちは取り合いやケンカをしながらも大切な力を育み、集団だからこそ学べることがあります。保育者が仲介しながら、お友だちとの関わり方を繰り返し知らせています。

《２歳児（デイジー組）》

【お部屋の様子】

「どうしたらスムーズな動きが出来るか」「遊び込める・落ち着く場所はあるか」「どうしたら身支度に取り組みやすいか」など、子どもの目線に立って考え、環境設定を行っています。おもちゃは年齢や発達に合っているかを定期的に見直し、指先を使うもの、イメージが豊かになるような見立てられるもの等も多く取り入れています。
また、お部屋の向かいがトイレになっているのでトイレトレーニングが始まる時期のお子さんにも行きやすい導線のお部屋になっています。

【集団で過ごす楽しさを】

言葉のやり取りをしながら、お友だち同士の関わりが多く見られる時期です。
友だちや保育者と一緒に楽しめる簡単なルールのあるゲームや活動を多く取り入れ、集団で過ごす楽しさを経験できるような関わりを大切にしています。

【ゆったりとした雰囲気の中で食べる喜びや楽しさを味わう】

「食べるって楽しいね」という根幹の部分を毎日しっかり経験していくことを大切にしています。好き嫌いに関しては、食材の形態を変えたり声掛けの工夫をする、食育を通して様々な体験をしていく中で《食＝楽しい》の心を育てていきます。

【見る・聞く・触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする】

五感を生かした遊びの一つとして、感触遊びを多く取り入れています。
「触ってみるとどんな感じかな？」「混ぜたらどうなるのかな？」と興味を持ち、「面白いね」「不思議だね」「きれいだね」と、保育者も心から面白がったり驚いたりすることで、子どもたちの発見が更に楽しい活動につながっています。

【生活や遊びなどの経験を通して、イメージや感性が豊かになる】

言葉が出てくるのと同じ頃に、ごっこ遊びの基礎になる見立て遊びが見られるようになります。この時期になると、「これはなに？」と質問を繰り返しながら言葉の数を増やし、だんだんと見立て遊びから言葉を使った簡単なごっこ遊びへと進化していきます。
感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養っていけるような関わりを大切にしています。

《3 歳児（アイリス組）》

【お部屋の様子】

保育室の入り口付近には活動的なスペースとして使えるようにし、奥には遊びのコーナーや落ち着いて本が読める環境を作っています。積極的に身支度に取り組めるよう、ロッカーの前もゆったりとスペースを確保しています。

【生活習慣を身につけ、見通しを持って行動する】

見通しを持って行動するには、その必要性を理解し、やり方もわかって「できる」ということが大切です。物の使い方、ルールなどそうしなければいけない理由とそのやり方、またはそうしてはいけない理由をきちんと伝え、子どもたちが自発的に動けるようになるような関わりを大切にしています。

【自分の思いを言葉で表現出来るように、相手の気持ちにも気付けるように】

自分と相手の気持ちの両方がわかり始め、自分の気持ちを通そうとする思いと、時には思い通りにならないという不満や辛さを感じ、葛藤が見られる時期です。子どもの気持ちを受け止め寄り添い、自分の言葉で思いを伝えられるような関わりを大切にしています

《4 歳児（クローバー組）・5 歳児（オリーブ組）》

【お部屋の様子】

２つのお部屋を開放し、４歳児・５歳児は異年齢保育を行っています。活動的なスペースや遊びのコーナー、夢中になって遊べる場所、落ち着いて過ごせる環境を作っています。

【遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する（4 歳児）】

子どもの力が発揮出来たり、子どもたちが自分で考え作り出していけるように、すぐに声を掛けるのではなく子ども同士での発言に耳を傾け、必要に応じで援助し、遊びを広げていけるような関わりを心掛けています。また、大人では思いつかない子どもならではの発想や考え、気づきを大切にしています。

【ケンカをきっかけに（4 歳児）】

友だち同士での関わりがより一層増え、同時にそれぞれの思いがぶつかり合う経験もたくさんする時期です。トラブルが起きた時、単に「謝る」「許す」の言葉のやり取りだけで終わらせるのではなく、それぞれの話を聞いて論点を整理したり、あえて大人が先導せず気持ちを汲みとって子どもたちが自分で解決策を見出せるように丁寧に関わっています。

【自分の思いや考えを伝える力や相手の話を聞く力を身につける（５歳児）】

友だちとの話し合いを繰り返しながら、自分の思いや考えを伝える力や相手の話を聞く力を身につけていく時期です。
共通の目的に向かって工夫や協力、役割分担などをしっかりしながら自分たちで取り組めるように先導はせず見守ったり、時折解決のヒントを伝えたりして自分自身で選択しながら生活できるような関わりを大切にしています。

【就学に向けての生活リズムづくり（５歳児）】

「小学生になるのが楽しみ！」と期待を持って進級できるように、小学生と交流の機会を設けたり、就学に向けて意識しながら少しずつ生活リズム作りを行っていきます。
例≪ねらい≫
●早寝早起き、朝ごはんをとる習慣を身につけ９時までには登園する。
●生活や活動を進める中で、自分のすることが分かり、見通しを持ったり、周囲の状況を判断して行動できるようになる。
●遊びや生活の中で保育者や友だちと触れ合い、安定感を持って行動できるようになる。

《その他の取り組み》

【キャストレッスン】

（体操教室）

（英語教室）

（おんがく）

体操教室・リトミック・英語教室を行っています。1 歳児クラスより参加します。子どもたちも、講師の先生が来るのを楽しみにしています。

【食育・食農への取り組み】

幼児クラスを中心に、季節の野菜や植物の栽培・観察・収穫、食具の持ち方や三食表のはなしなど食事のマナーや自分の体の事に興味関心が持てるような取り組みを行っています。また、月に１回栄養士と共にクッキング活動をおこなっています。

【異年齢交流】

違う学年のお友だちと一緒に手を繋いでお散歩に行ったり、それぞれのお部屋に遊びに行って一緒に交流保育をすることもあります。園庭では、年上のお友だちが遊んでいる姿を見て自分もやってみようとマネしようとしたり、年下のお友だちに対して遊びに誘ったりさり気なく危険がないか優しく見守る姿もみられ、憧れの気持ちや思いやりの気持ちが芽生えお互いにとてもいい刺激になっています。

【年間行事について】

子どもたちの成長は、内容豊かな日常があってこそ成り立ちます。
その日常生活には安定感が必要ですが、日常が子どもたちの生活に変化と成長を与える機会となります。そのため、子どもたちが園生活を主体的に楽しみ、生活体験や人間関係を深める機会に繋がるようにねらいを持って取り組んでいます。

《主な行事》

４月　　★入園お祝い会・★クラス懇談会
５月　　★移動動物園・★個人面談（1 家庭 10 分程度を予定）
６月　　定期健康診断（全園児）・歯科検診（全園児）
７月　　夏祭り
８月　　お泊り会（５歳児）
９月　　★保育参観・★運営委員会・★引き取り訓練
10 月　★運動会・ハロウィンパーティー
11 月　遠足（４・５歳児）
12 月　★発表会（３・４・５歳児）・クリスマスお楽しみ会
１月　　★個人面談（希望者のみ）
２月　　節分お楽しみ会
３月　　ひなまつりお楽しみ会・お別れ遠足・★卒園式・★運営委員会

※★マークがついているものは、保護者が参加出来る行事です。
※行事内容の見直しをすることもありますので、予めご了承ください。

《行事の様子》

＝5 月　移動動物園＝

ポニーに乗ったり、ヤギやモルモット等 16 種類の動物たちと親子で触れ合いを楽しみました

＝7月　夏祭り＝

的当てやヨーヨー釣り、お面作りに盆踊りを楽しみました

＝8月　お泊り保育（5歳児のみ）＝

ボディーペインティングや製作、夕食のうどん作り、花火などをみんなで楽しみました。

＝10月　運動会＝

かけっこやリレー、お遊戯、日頃やっている運動遊びを披露しました

＝12月　発表会（幼児クラスのみ）＝

劇や楽器演奏などを披露しました。

《よくいただくご質問とお願い》

Q.　延長保育・延長保育料について知りたいです。

【延長保育時間】　１８時０１分～１９時００分
※お仕事やご都合等で、お迎え時間が１８時を過ぎると分かった時点でのご連絡をお願いしています。

【標準時間認定保育の方（基本保育時間　７時００分～１８時００分）】

	継続利用	※スポット延長
夕延長 （１８時０１分～１９時００分）	月額４０００円	１日５００円
別途　補食代（１食）	１５０円	１５０円

【短時間認定保育の方（基本保育時間　８時３０分～１６時３０分）】

	継続利用	※スポット延長
朝延長 （７時００分～８時２９分）		３０分　２５０円
夕延長 （１６時３１分～１９時００分）		３０分　２５０円
別途　夕延長時補食（１食）	１５０円	１５０円

※スポット延長とは一回のご利用ごとに料金の発生する、急な延長保育に対応するシステムです。月８回以上スポット延長を利用された場合、請求額は継続利用料を上限とします。

Q.　補食提供について知りたいです。

１８時０１分を過ぎた場合は補食（おにぎり又はおせんべいとゼリー又は果物等の提供があります。）
当日１５時までの事前予約が必要です。予定が分かり次第のご連絡をお願いしております。

Q.　慣らし保育の期間はどのぐらいですか。

お子さまの様子や保護者様のご都合もありますので、何日間とは決めておりません。
年齢の低いお子さまや集団保育が初めてのお子さまなど状況も様々ですので、様子を見ながら徐々に保育時間を延ばしてゆくのが望ましいです。（目安としては約２週間程度を想定）
新しい環境はお子さまにとっても慣れるまではストレスを感じ、入園直後は保育施設での睡眠中に「突然死（ＳＩＤＳ）」を発症するリスクが高いことも報告されております。
入園前の面談や保育中の様子、保護者様のご都合をお伺いしながら慣らし保育の期間を決めさせていただいております。

Q.急な登降園時間・お迎えの者の変更について知りたいです。

●当日急遽欠席もしくは登園時間が遅くなる場合、またはお迎えが遅れる場合は**必ずお電話にてご連絡ください。**お迎え時間が遅くなる場合は、事前にご連絡の上必ず閉園時間内に来ていただくようご協力お願い致します。
※園を出る時間が閉園時間（１９時００分）を超えないようにご注意ください。

●事前にお伝えいただいていない方へのお子さまの引き渡しは原則できません。お迎えのご家族に変更がある場合は、**必ず職員に直接またはお電話にて事前にお伝えください。**

Q.　日々の持ち物が知りたいです。

【準備していただくもの】

・当日使用する着替え一式（肌着・長袖（半袖）・ズボン・汚れもの袋１枚）

・予備の着替え一式（肌着（３枚）・上着（３枚）・ズボン（３枚）・靴下（１足）・パンツ（適量））※2 歳児クラス以上は、ロッカーの中に入れておきます。

◎お昼寝用大判バスタオル（２枚）

◎戸外活動用カラー帽子（０歳児はご自宅で使用しているもの、１～５歳児は、園でも購入して頂けます）

・外用運動靴

・うがい用のコップ（４・５歳児クラス）

・水筒（４・５歳児クラス）

※◎は週明け持ってきていただき、週末持ち帰りになります。

※おむつのサブスクを利用されない方は、おむつとおしり拭きをご用意ください。

【園で用意するもの】

・おむつとおしり拭き（おむつのサブスク利用者のみ）

・寝具一式（敷布団（０～１歳児）・防水シーツ（0～1 歳児）・コット（２～５歳児））

・食事用エプロン（0～２歳児）

・食具

・哺乳瓶

・食事用手口拭きペーパータオル

・シール帳（3～５歳児）

・おたよりバインダー（全園児）

※年齢に応じて必要な物をお持ちください。

Q.　使用済みのおむつは持ち帰りですか。

使用済みのおむつの破棄は園で行います。（無料）

Q.おむつのサブスクリプションについて

ベビージョブ　手ぶら登園を導入しております。月額 2280 円（税込：2508 円）でおむつとおしり拭きが使い放題でご利用いただけます。（※園内でのご利用に限る）

メーカー：マミーポコ

支払い方法：≪クレジットカードの場合≫ご利用月の９日付でクレジットカード会社に請求

≪口座振替の場合≫ご利用月の２７日に指定口座からお引き落とし

・登録後すぐにご利用いただけます。

・サイズ変更や途中休会・解約も可能です。

・日割り計算での請求や一部返金は行っておりません。月額絵料金をお支払いいただく定額サービスとなります。

・おむつの種類は保護者様に選んでいただくことは出来ません。

Q. 体調不良時の対応について知りたいです。

保育中に、発熱（原則３８.０℃以上）・嘔吐・激しい下痢・顔色が優れない・元気がない等、お子さまの具合が悪くなった場合は保護者に連絡し、至急お迎えをお願いする場合もありますのでご協力の程よろしくお願いいたします。３７.５℃を超えた段階で、更に熱が上がった際にお迎えをお願いする可能性がある為、一度ご連絡させていただきます。

Q. 駐輪場・駐車場はありますか。

【駐輪場について】駐輪場はございます。自転車でお越しの際はそちらをご利用ください。（駐輪スペースの関係上、送迎時の一時駐輪のみとさせていただいております）

【駐車場について】駐車場はございません。（一時駐車を含む）近隣の方のご迷惑にもなりますので、**車での送迎は固くご遠慮いただいております。**予めご了承ください。

Q. ベビーカーや抱っこひもは置いていけますか。

１Ｆ玄関内にベビーカー置場を設置しておりますので、そちらをご利用ください。

抱っこひもはお子さまの荷物が入っているカバンの中に入れていただき、一緒にお預かりすることが出来ます。

Q. 父母会はありますか。

父母会はございません。

運営管理責任者が、第三者委員や利用者の代表を招集し、当園の利用や保育内容、施設・整備に関する事項について協議する【運営委員会】という場を設けています。（年２回程度）

Q.保護者が休みを取って参加するような行事はありますか。

親子参加型の行事は、主に土曜日に計画しております。（４月：入園お祝い会・５月：移動動物園・１０月：運動会・１２月：発表会（幼児クラス）・３月：卒園式　等）

また、クラス懇談会や個人面談、保育参観、運営委員会など平日に日程調整のご協力をお願いする行事もございます。

Q.お散歩にはどのぐらい行きますか。

その日のねらい・目的に合わせて担任が主活動の計画を立てております。

活動内容や気候、子どもたちの体調、安全に戸外で過ごすための職員配置等を考慮し、回数が少ない週（0～１回程度）もあれば、多く行ける週（２～３回程度）もあります。

Q.保育料以外でかかる費用はなにかありますか？

副食費	4500 円/月　※幼児クラスのみ
補食代	150 円/食　※希望者のみ
延長保育料	※発生時のみ
カラー帽子（たれあり）	1050 円　※希望者のみ
写真代（保育の様子や行事）	99 円～/枚　※希望者のみ
卒園アルバム	実費
自由画帳	157 円　※4・5 歳児クラスの希望者のみ

上記の利用料金につきましては、市況の変動などの事情により価格を改定する場合がございます。

※希望者のみ。強制ではありません。

Q. 非常災害時の対応・避難場所について知りたいです。

登園後に警報等が発令された場合は、安全のため出来るだけ早めのお迎えをお願いしております。

保護者様に無事に引き渡しが出来るまで、園・または避難所でお子様と一緒にお待ちしています。

【指定避難箇所】　府中市立第三小学校　（府中市片町３－５）

【広域避難場所】　東京競馬場　（府中市日吉町１－１）

【風水害時避難場所】府中市立第一小学校　（府中市寿町２－６）

【延長保育と土曜日保育についてのお願い】

延長保育・土曜日保育は、満１歳を過ぎてからお願いしております。